

委託事業実施内容報告書

平成20年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日系人等を活用した日本語教室の設置運営】

受託団体名 八郎潟日本語支援サークルおむすび

1 事業の趣旨・目的

2

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
7/3	伊藤敦朗・相馬力美・ 小林輝和・北島弘宇・ 佐々木康雄・畠山健 正・児玉亮・児玉智 子・小林さよ子	今年度の指導体制について 補助者委託について	補助者として伊藤、小林 が協力することに 北川先生は今期の協力が 困難に
8/7	伊藤敦朗・相馬力美・ 小林輝和・北島弘宇・ 佐々木康雄・畠山健 正・児玉亮・児玉智 子・小林さよ子	9月からの指導について 町長選挙のため教室が変更 生徒の参加を増やすために	
9/4	伊藤敦朗・相馬力美・ 小林輝和・北島弘宇・ 佐々木康雄・畠山健 正・児玉亮・児玉智 子・小林さよ子	後期時間の変更について 教材の選択について	
10/2	伊藤敦朗・相馬力美・ 小林輝和・北島弘宇・ 佐々木康雄・畠山健 正・児玉亮・児玉智 子・小林さよ子	生徒が楽しむ事業について	
11/6	伊藤敦朗・相馬力美・ 小林輝和・北島弘宇・ 佐々木康雄・畠山健	体調を崩している生徒の対 応について	

	正・児玉亮・児玉智子・小林さよ子		
12/4	伊藤敦朗・相馬力美・小林輝和・佐々木康雄・畠山健正・児玉亮・児玉智子・小林さよ子	2月に開催される大湊村の国際交流会へ派遣する生徒について	
1/15	伊藤敦朗・相馬力美・佐々木康雄・畠山健正・児玉亮・児玉智子・小林さよ子	冬季間の吹雪で 1/15 の教室は中止に	中止の場合の生徒への連絡方法について役員で分担を決める
2/5	伊藤敦朗・相馬力美・小林輝和・佐々木康雄・畠山健正・児玉亮・児玉智子・小林さよ子	文化庁の視察について	当日参加できる生徒や会員に事情を説明 通常の教室運営を見てもらう 控え室を1室予約
3/5	伊藤敦朗・相馬力美・小林輝和・北島弘宇・佐々木康雄・畠山健正・児玉亮・児玉智子・小林さよ子	日本語スピーチについて 招待者の範囲について	助成金の完了報告のために領収証の管理 日本語スピーチに運営委員も参加要請
3/20	伊藤敦朗・相馬力美・小林輝和・北島弘宇・佐々木康雄・畠山健正・児玉亮・児玉智子・小林さよ子	助成金完了報告について 21年度の助成金申請について	完了報告については児玉が作成 21年度も助成金の申請をする



【写真】左、講師も運営委員会に参加、 右はクライン会員が大勢参加したときの会議



交流会を通して潟上市(中央)男鹿市(左)の国際交流担当の職員とも交流

3 日本語教室の開催について

- | | |
|---------------|---------------------------------------|
| ① 日本語教室の名称 | 八郎潟日本語支援サークル おむすび |
| ② 開催場所 | 八郎潟町 農村環境改善センター |
| ③ 学習目標 | 日本語検定 2 級取得 日時用生活に不自由ない会話 |
| ④ 使用した教材・リソース | 楽しく聞こう、楽しく話そう ひらがな表、レシートなど |
| ⑤ 受講者の募集方法 | 地方紙の広告、町の広報に広告依頼、ポスター |
| ⑥ 受講者の総数 | <u>11 人</u> (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。) |
| ⑦ 開催時間数(回数) | <u>52 時間</u> (<u>全 26 回</u>) |

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
1	7/3 19:00～21:00	2 時間	11	中国・中国語（6 人） 米国・英語（5 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
2	7/10 19:00～21:00	2 時間	5	中国・中国語（4 人） 米国・英語（1 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
3	7/17 19:00～21:00	2 時間	8	中国・中国語（5 人） 米国・英語（3 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
4	8/7 19:00～21:00	2 時間	5	中国・中国語（4 人） 米国・英語（1 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
5	8/21 19:00～21:00	2 時間	4	中国・中国語（4 人） 米国・英語（0 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
6	8/28 19:00～21:00	2 時間	8	中国・中国語（5 人） 米国・英語（3 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
7	9/4 19:00～21:00	2 時間	9	中国・中国語（5 人） 米国・英語（4 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
8	9/11 19:00～21:00	2 時間	4	中国・中国語（4 人） 米国・英語（0 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
9	9/18 19:00～21:00	2 時間	8	中国・中国語（4 人） 米国・英語（4 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
10	10/2 18:30～20:30	2 時間	11	中国・中国語（6 人） 米国・英語（5 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
11	10/9 18:30～20:30	2 時間	5	中国・中国語（3 人） 米国・英語（2 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう

						楽しく聞こう
12	10/16 18:30～20:30	2 時間	6	中国・中国語（4 人） 米国・英語（1 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
13	11/6 18:30～20:30	2 時間	4	中国・中国語（3 人） 米国・英語（1 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
14	11/13 18:30～20:30	2 時間	5	中国・中国語（3 人） 米国・英語（2 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
15	11/20 18:30～20:30	2 時間	8	中国・中国語（6 人） 米国・英語（2 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 参考図書なし
16	12/4 18:30～20:30	2 時間	11	中国・中国語（6 人） 米国・英語（5 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
17	12/11 18:30～20:30	2 時間	5	中国・中国語（3 人） 米国・英語（2 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
18	12/18 18:30～20:30	2 時間	11	中国・中国語（6 人） 米国・英語（5 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
19	1/22 18:30～20:30	2 時間	5	中国・中国語（3 人） 米国・英語（2 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
20	1/29 18:30～20:30	2 時間	3	中国・中国語（3 人） 米国・英語（0 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
21	2/5 18:30～20:30	2 時間	6	中国・中国語（4 人） 米国・英語（2 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
22	2/12 18:30～20:30	2 時間	4	中国・中国語（4 人） 米国・英語（0 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
23	2/19 18:30～20:30	2 時間	8	中国・中国語（4 人） 米国・英語（4 人）	教授者 10 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう

24	3/5 18:30～20:30	2 時間	6	中国・中国語（4 人） 米国・英語（2 人）	教授者 9 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
25	3/12 18:30～20:30	2 時間	11	中国・中国語（6 人） 米国・英語（5 人）	教授者 9 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう
26	3/19 18:30～20:30	2 時間	4	中国・中国語（4 人） 米国・英語（0 人）	教授者 9 人 補助者 3 人	学習 楽しく話そう 楽しく聞こう

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)



左上 個別指導のためのアドバイス中

右上 小中学生は学校で渡されたドリルなどの宿題を中心に指導

左下 毎回テーマを決めて 指導

右下 時々日本文化を知るために住民に協力してもらい体験してもらうことも(日本弓道)

⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
藤田 アンナ	ロシア語(ロシア国)	2 年	26 回	講師, 語学指導
高橋 美菜	スペイン語(ブラジル)	20 年	3 回	語学補助、社会生活のサポート
蔡 艶	中国語(中国)	12 年	26 回	語学補助、助手

⑪ 支援者の名簿(⑦以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
伊藤敦朗	異業種交流会クライン会長	1級建築設計士	26 回	アドバイザー 開設支援
佐々木康雄	ハートインクリニック院長	医師	26回	アドバイザー 開設支援
畠山健正	ネットヨタ支店長		26回	アドバイザー 開設支援
相馬力美	ささき内科医院	調理師	26回	開設支援
斉藤伸義	斉藤建材店		3 回	開設支援
小林輝和	小林仕出店	調理師	26回	開設支援

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

企業に就職し地域に住む外国籍の人々との交流が進まない。応募方法を再考する必要がある。小中学生や大人に対する社会生活のサポートについては改善が見られた。地域住民の日本語教育支援者は1人の増加にとどまった。行政との交流については町長が若い人と交代し、日本語教育について感心を示していただき開校式、日本語スピーチ大会などの地域との交流する機会に参加して下さるようになった。

② 学習者の習得状況

小中学生はドリル宿題を中心に正しい文章を書ける
中国籍の大人は日常使用される文章が読めて理解できる
米国籍の大人はカタカナとひらがなの読み書きが出来る

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

受講者のうち2名が就職できた

受講者の1人が4年生大学に合格した

受講生の1人が公立高校に合格した

中学校に通う中国籍の生徒を支援したことで学校や町役場に日本語教室の重要性を理解してもらいきっかけとなった

生徒間に仲間意識が出来てきたため少しずつ続けて参加する生徒が増えてきた

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

隣接する市町村の国際交流協会と情報交換、支援などをいただけるようになった

町役場の理解で公共機関を通年で教室として無料で使用できるようになった

町長や教育課長が開校式や閉校式などの行事に参加していただけるようになった

教室で主催する交流会に地域住民が多数参加するようになった

⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状 指導者の技術向上

b. 今後の課題 指導者の技術向上と数の増加

c. 今後の活動予定、展望

新聞等の広告を通して生徒を増やす努力

町工場に勤務する外国籍の従業員発掘

自宅にこもっている外国籍の住民対策

外国籍の人たちの就職活動

⑥ その他参考資料

今回初めて文化庁の職員と大阪大学の教授をお迎えして教室を見ていただき

様々なアドバイスをいただきました。少なくとも年に2回程度、このような現状視察を

続けていただきたいと思います。行政や企業の支援が難しい地域の日本語教室は

中央との格差はますます増えるばかりです。